献血場所を変更して実施

＝支部共済委員会＝

10月２日、大阪支部共済会として、献血活動の取り組みを行いました。

例年は大正区の大阪第２港湾労働者福祉センターで行っていましたが、第２センターの閉鎖で、今年度は大阪港湾労働会館で初めて行いました。

当日は初めての場所ということもあり、早めに共済会役員は集合し、献血会場になる場所を掃除して献血バスを待ちました。やがてバスが到着し、初めての場所で戸惑いながらも、赤十字センターのスタッフと協力して、無事に献血受付開始時刻に間に合いました。



９時40分に献血受付が始まりましたが、第２センターで行っていた時より、分会からの参加者が芳しくなく、前年よりも大幅に採血者が集まりませんでした。

しかし、共済会役員によって前週に近隣の住宅やマンションに献血のビラをポスティングした事や、港湾福利厚生協会の方が参加してくれたり、大阪港ハローワークにも声かけを行なった効果がでて、一般の方が12名も受付にきてくれました。しかも、関西地本の委員長や、阪神支部の方にも協力していただけました。

採血結果は20名でしたが、大阪支部が近隣にむけ、献血の活動をしている事をもっと広め、分会の協力も得て、これからもしっかりと献血の取り組みを頑張って行きたいと思います。皆さん協力よろしくお願いします。

（執行部　岡田　大）

分会だより シリーズ①

太平ビルサービス

太平ビルサービス株式会社は、全国で30,000人の労働者が働くビルメンテナンスの大手企業です。そのうちの8割以上がパート・有期雇用労働者です。清掃や警備、ビル管理の仕事をしています。太平ビルサービス大阪には400名の労働者が在籍しています。

太平ビルサービスでは、パート・有期雇用労働者の賃金は最低賃金に、はりついてきました。また、慶弔手当、通勤手当などの諸手当においては、正規社員との間に不均等待遇が存在しています。

10月９日、大阪支部太平ビルサービス分会は、会社との第１回目の団体交渉を行いました。

席上、会社より、①従来からの労働協約、労働協定、労働慣行は守っていく、②これまで通り、組合費のチェックオフは行うとの回答がありました。

大阪支部太平ビルサービス分会は15名の少数組合ですが、全従業員の労働条件は、太平ビルサービス分会との団体交渉で決定しています。

私たちは、太平ビルに働くすべての労働者の労働条件の向上と、不均等待遇の廃止を求めて闘っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



だんけつ
第４０７号　２０２６年１０月２８日
発行
大阪市港区築港１－１２－２７
全日本港湾労働組合関西地方大阪支部
発行責任者　陣内恒治



組織拡大が最優先事項に

大阪支部第52回定期大会が10月３日、大阪港湾労働者第１福祉センターにおいて、支部役員13名、代議員35名、傍聴10名、来賓12名、総勢70名の参加で開催されました。

横山副執行委員長の開会あいさつの後、大河内代議員（大阪機船分会）と山下代議員（大阪サンエー分会）が議長団に選出されました。

資格審査報告、大会成立宣言の後、小林執行委員長のあいさつでは、この１年の国内外の政治情勢や労働運動を振り返り、国際秩序を乱すトランプ政権と民主主義をないがしろにする高市政権に警鐘を鳴らし、「３度目の大阪都構想を実施しようとする維新の会との自民・維新の連立政権は改憲発議に必要な３分の２を確保したことから憲法９条の改悪に乗り出しています。実現すれば、日本は第２次世界大戦以前の「戦争ができる国家」へ回帰する形となります。政府が進めなくてはならないのは、過去の戦争の反省をして、二度と同じ過ちをしない、させないことであり戦争への回帰ではなく反省して過ちを繰り返さないことです。」と訴えました。また、執行委員長を退任するにあたり、「全港湾の組合員である誇りとプライドはあります。その思いが私の原動力でありました。私の好きな言葉に辺野古の闘争で知った「勝つことはあきらめないこと」大阪支部の歴史で学んだ「全港湾は負けない（全港湾は負けを認めない）」そして、「義理人情」義務や恩返しを重んじる義理と他人への思いやりの人情を合わせた言葉であります。これからの全港湾大阪支部の未来に向け本日の大会を参加者全員で成功裡に終える事をお願いして支部代表としての挨拶に返させていただきます。」と締めくくりました。

来賓あいさつ、メッセージ・祝電紹介の後、２０２５年度主なたたかいと総括（案）、第２号議案２０２６年度運動方針（案）、２０２５年度決算・２０２６年度予算（案）が提案され、質疑討論の後、満場一致で可決されました。

今期は役員改選の年ですが定数通りの立候補となり、代議員の信任投票により、全員が信任をいただきました。執行委員長、書記長が新任となり新執行部体制となりますが、労働条件の向上、格差社会の是正、戦争のない安心・安全な暮らしをめざし、組織拡大を最優先事項として頑張っていきます。最後は吉馴新執行委員長の団結がんばろうで大会を終了しました。

（書記長　関谷 和人）

